



# 平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月6日

上場会社名 日本ゼオン株式会社  
 コード番号 4205 URL <http://www.zeon.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 田中公章

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 南忠幸

TEL 03-3216-2747

四半期報告書提出予定日 平成26年2月7日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満四捨五入)

## 1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	223,514	19.8	24,470	42.7	27,247	58.1	17,124	52.6
25年3月期第3四半期	186,589	△6.4	17,142	△39.8	17,240	△36.5	11,225	△30.0

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 23,413百万円 (105.9%) 25年3月期第3四半期 11,370百万円 (△18.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	73.98	73.86
25年3月期第3四半期	48.56	48.48

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	385,645	182,765	46.4
25年3月期	350,508	162,057	45.2

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 178,957百万円 25年3月期 158,494百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	6.00	—	6.00	12.00
26年3月期	—	7.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	6.00	13.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	293,000	16.8	28,000	18.2	30,000	19.0	17,500	18.6	75.70

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 2「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」の「(1)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期3Q	242,075,556 株	25年3月期	242,075,556 株
----------	---------------	--------	---------------

② 期末自己株式数

26年3月期3Q	10,407,196 株	25年3月期	10,913,315 株
----------	--------------	--------	--------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期3Q	231,467,233 株	25年3月期3Q	231,165,197 株
----------	---------------	----------	---------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明会の入手方法について)

当社は、平成26年2月6日(木)に証券アナリスト・機関投資家向け説明会を開催する予定です。この説明会の資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	2
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	2
3. 四半期連結財務諸表 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	7
(重要な後発事象) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間を振り返りますと、政府の経済対策の効果もあり円安・株価の上昇等が進み、国内経済に緩やかな回復の動きがみられたものの、欧州債務不安の長期化や新興国の景気減速など世界経済の下振れ懸念はなお拭えず、当社グループをめぐる経営環境は先行き不透明な状況で推移しました。

当社グループはこのような環境のもとで、引き続き「ZΣ運動」による徹底したコスト削減に努めるとともに、エラストマー素材事業においては採算性の重視と生産・販売のグローバル展開、高機能材料事業においては付加価値の高い新製品の開発と事業拡大に取り組んでまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は2,235億14百万円となり、前年同期に比べて369億25百万円の増収となりました。また、営業利益は244億70百万円と前年同期に比べて73億28百万円の増益、経常利益は272億47百万円と前年同期に比べて100億8百万円の増益、四半期純利益は171億24百万円と前年同期に比べて59億円の増益となりました。

セグメントの業績は、次の通りであります。

#### (エラストマー素材事業部門)

合成ゴム関連では、海外子会社における市況の悪化等の影響があったものの、円安を背景にした拡販が奏功し販売数量を伸ばしたことから、全体の売上高は前年同期を上回りましたが、営業利益は前年同期を下回りました。

合成ラテックス関連では、樹脂改質向けや一般工業用途向け等の販売が堅調であったことから、売上高、営業利益ともに前年同期を上回りました。

化成品関連では、国内市場での熱可塑性エラストマーの販売低調があったものの、モノマー販売が堅調に推移し、円安を背景に海外市場での販売も好調だったことから、全体の売上高、営業利益ともに前年同期を上回りました。

以上の結果、エラストマー素材事業部門全体の売上高は前年同期に比べて152億72百万円増加し1,385億84百万円、営業利益は前年同期に比べて26百万円増加し151億95百万円となりました。

#### (高機能材料事業部門)

高機能樹脂関連では、医療用途・光学レンズ用途の販売が堅調に推移しました。高機能部材関連では、テレビ向け光学フィルムが好調で数量及び売上高を伸ばしました。この結果、高機能樹脂及び部材全体では売上高、営業利益ともに前年同期を上回りました。

情報材料関連では、電池材料及びトナーは好調でしたが、電子材料などの売上高は前年同期を下回りました。この結果、情報材料全体では売上高は前年同期を上回りましたが、営業利益は前年同期を下回りました。

化学品関連では、円安の影響に加え、特殊化学品において拡販活動が進んだことにより、全体の売上高、営業利益ともに前年同期を上回りました。

以上の結果、高機能材料事業部門全体の売上高は前年同期に比べて130億49百万円増加し493億81百万円、営業利益は前年同期に比べて72億8百万円増加し81億12百万円となりました。

#### (その他の事業部門)

その他の事業においては、商事部門の販売が増加したこと及び塗料事業の子会社化などにより、全体の売上高は前年同期に比べて94億96百万円増加し377億66百万円、営業利益は前年同期に比べて84百万円増加し11億66百万円となりました。

### (2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年11月6日に公表しました業績見通しの数値に変更はありません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### (1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

#### 税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

#### 原価差異の繰延処理

季節的に変動する操業度等により発生した原価差異は、原価計算期間末までにはほぼ解消が見込まれるため、当該原価差異を流動資産（その他）および流動負債（その他）として繰り延べております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	12,216	8,280
受取手形及び売掛金	69,299	79,249
商品及び製品	43,145	46,117
仕掛品	3,826	5,059
原材料及び貯蔵品	9,607	12,227
未収入金	31,916	37,981
繰延税金資産	2,703	2,781
その他	3,019	4,137
貸倒引当金	△75	△85
流動資産合計	175,656	195,746
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	34,817	37,844
機械装置及び運搬具(純額)	35,126	45,202
土地	18,042	18,102
建設仮勘定	16,751	11,984
その他(純額)	4,200	5,233
有形固定資産合計	108,937	118,365
無形固定資産		
その他	6,577	6,351
無形固定資産合計	6,577	6,351
投資その他の資産		
投資有価証券	51,971	57,768
繰延税金資産	901	1,066
その他	6,773	6,646
貸倒引当金	△306	△297
投資その他の資産合計	59,338	65,184
固定資産合計	174,852	189,900
資産合計	350,508	385,645

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	73,953	91,356
短期借入金	20,156	32,539
コマーシャル・ペーパー	7,000	—
1年内償還予定の社債	10,000	—
未払法人税等	3,923	6,243
賞与引当金	1,657	301
その他の引当金	123	2,915
その他	17,747	21,427
流動負債合計	134,560	154,780
固定負債		
社債	—	10,000
長期借入金	29,327	12,475
繰延税金負債	8,059	9,003
退職給付引当金	11,549	12,237
その他の引当金	1,762	522
その他	3,194	3,863
固定負債合計	53,891	48,100
負債合計	188,451	202,881
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	24,211	24,211
資本剰余金	18,372	18,514
利益剰余金	115,836	129,951
自己株式	△8,108	△7,735
株主資本合計	150,312	164,941
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	15,848	17,424
繰延ヘッジ損益	△0	0
為替換算調整勘定	△5,468	△927
年金負債調整額	△2,199	△2,482
その他の包括利益累計額合計	8,182	14,016
新株予約権	262	251
少数株主持分	3,301	3,556
純資産合計	162,057	182,765
負債純資産合計	350,508	385,645

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	186,589	223,514
売上原価	135,306	160,037
売上総利益	51,283	63,477
販売費及び一般管理費	34,141	39,007
営業利益	17,142	24,470
営業外収益		
受取利息	78	70
受取配当金	719	785
為替差益	96	2,483
雑収入	981	699
営業外収益合計	1,874	4,036
営業外費用		
支払利息	730	548
休止固定資産減価償却費	921	488
雑損失	125	223
営業外費用合計	1,776	1,258
経常利益	17,240	27,247
特別利益		
投資有価証券売却益	—	329
負ののれん発生益	—	85
関係会社株式売却益	209	—
受取補償金	199	—
その他	21	10
特別利益合計	429	425
特別損失		
固定資産処分損	163	221
その他	552	45
特別損失合計	715	266
税金等調整前四半期純利益	16,954	27,406
法人税等	5,405	9,999
少数株主損益調整前四半期純利益	11,548	17,407
少数株主利益	324	283
四半期純利益	11,225	17,124

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	11,548	17,407
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△143	1,619
繰延ヘッジ損益	△1	0
為替換算調整勘定	△38	4,670
年金負債調整額	3	△284
その他の包括利益合計	△178	6,005
四半期包括利益	11,370	23,413
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	11,050	22,949
少数株主に係る四半期包括利益	320	464

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	エラストマー 素材事業	高機能材料 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	122,185	36,331	158,517	28,072	186,589	—	186,589
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,127	—	1,127	197	1,324	△1,324	—
計	123,312	36,331	159,643	28,269	187,912	△1,324	186,589
セグメント利益	15,169	904	16,073	1,081	17,155	△13	17,142

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、R I M配合液等の販売等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△13百万円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	エラストマー 素材事業	高機能材料 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	136,658	49,381	186,039	37,475	223,514	—	223,514
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,926	—	1,926	290	2,216	△2,216	—
計	138,584	49,381	187,964	37,766	225,730	△2,216	223,514
セグメント利益	15,195	8,112	23,307	1,166	24,473	△3	24,470

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、R I M配合液、塗料等の販売等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△3百万円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

(自己株式の取得)

当社は、平成26年2月6日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、下記のとおり自己株式を取得することを決議いたしました。

(1) 自己株式の取得を行う理由

経営環境に応じた機動的な資本政策を遂行するため

(2) 取得の内容

①取得対象株式の種類

当社普通株式

②取得し得る株式の総数

6,000,000株 (上限)

③株式の取得価額の総額

5,000百万円 (上限)

④株式の取得期間

平成26年2月7日から平成26年3月24日まで

⑤株式の取得方法

信託方式による市場買付